



才一回全国公民館大会開催要項

一、趣 旨

今やわが国は講和条約の発効と共にいよいよ多難なる独立国家の再建に邁進することとなつた。

このときにあたり社会教育振興の重大なるに鑑みその中核たる公民館の使命は明日の日本の行方を照らす光明たるを確信し、その活動はまさに刻下の急務であるを痛感する。顧みれば公民館が敗戦後の荒廃した国家社会の復興をめざしてここに五年有余、幾多先駆者の血のにじむ努力はよくその困難を克服して地域社会に貢献し既に全国二万三千余の設置を見、量質共に劃期的な発展を遂げるに至つた。

しかしながら前途はますます多難であり当面する緊急課題は山積してその解決は焦眉の急である。

さきに公民館の全国的大同団結を見たのであるが、これを契機と

してここに才一回の全国公民館大会を開催し国家当面の要請に応えんと共にその組織にうつたえ、総意を結集して共に公民館発展の具体的方策を探究し再建日本の根基に培わんとするものである。

二期 日 昭和二十七年五月二十九日(木)三十日(金)の二日間

三、開催地 福 島 市

四、主 催 文 部 省

全国公民館連絡協議会

福 島 県

福島県教育委員会

福島県公民館連絡協議会

五、後 援 全日本社会教育連合会

福 島 市

飯 坂 町

福島県町村会

福島県連合青年会

天野 198

六日 程

才一日 五月二十九日(木)

九〇〇一—一〇〇〇 開 会

一〇〇〇一—一〇〇〇 講 演 文部大臣天野貞祐氏(予定)

一一〇〇一—一二〇〇 全 体 討 議

一二〇〇一—一三〇〇 中 食 レクリエーション

一三〇〇一—一四〇〇 研 究 発 表

一四〇〇一—一七〇〇 分科会(参加者の提出議題を中心に行う)

才一分科会 公民館の行財政について

才二 施設について

才三 公民館の職員について

才四 公民館の事業と運営について

才二日 五月三十日(金)

九〇〇一—一〇〇〇 全 体 会 議 分科会報告

一〇〇〇一—一〇三〇 全 建 議 題 討 議

一一、三〇一—一二、〇〇〇 閉 会

七 参 加 者

1. 都道府県公民館連絡協議会役職員

2. 公民館職員(館長主事等)

3. 社会教育委員、公民館運営審議会委員

4. 都道府県教育委員会公民館係

5. 市町村長又は吏員

6. 社会教育関係団体代表者

八 参 加 人 員

五〇〇名各都道府県より十名程度

但し東北地方近接県においては多数出席せられたい。

九 参 加 申 込

参加希望者は左記申込書様式により昭和二十七年五月二十五日迄に福島県教育委員会社会教育課内全国公民館大会事務局宛申込まれたい。

七 提出議題

公民館当面の問題について議題を提出されたい

1. 件名

2. 提出者氏名

提出された議題は事務局において整理の上各分科会に按配し研究
審議する。

六 宿 泊

主催者の指定する旅館（県外参加者は飯坂温泉）に分宿する
宿泊期日何日から何日まで何泊と明記の上出席の申込と共に申込
まれたい、一泊三食付七〇〇円程度
※資料交換のため貴公民館の概要に関する資料を出来るだけ参加者
数程度持参されたい。

記

参加申込様式

氏名	役職名	住 所	分科会名	宿泊希望何日 何泊何日まで	到着日時

提出議題

1. 件名

2. 提出者氏名